

令和 2 年度

事業計画書
收支予算書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

目 次

第1表 事業計画

1 事業計画書	1
---------	---

第2表 収支予算

1 収支予算書	19
2 収支予算書内訳表	21
3 資金調達及び設備投資の見込みについて	23

〔参考〕

1 収支予算書（収支ベース）	24
----------------	----

第1表 事業計画

事 業 計 画 書 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

【基本方針】

広島観光コンベンションビューローは、グローバルMICE都市にふさわしいMICEの振興及びインバウンドを中心とする観光の振興に係る施策をより積極的かつ機動的に推進する。

令和元年度においては、組織体制の再編・強化を図り、MICE誘致におけるマーケティング力の向上並びに新たな観光プロダクトの開発やムスリム・ベジタリアン対応の飲食店の増強をはじめとするインバウンドの受入れ環境整備などの事業に取り組んできた。

一方、広島地域の観光振興を取り巻く環境は、広島県及び広島県観光連盟の業務推進体制の見直しが進められるとともに、地域商社が設立されるなどの変化が起こっている。

こうした状況を踏まえ、令和2年度においては、当ビューローが果たすべき役割について改めて検討・整理しながら、一つひとつの事業の質的向上を図るとともに、広島県及び広島市、並びに広島商工会議所をはじめとする経済関係団体・企業との緊密な連携を図りながら、地域経済の活性化並びに国際相互理解の増進等に寄与する効果的な事業展開を図っていく。

また、当ビューローにおける独自性を發揮し、MICE誘致・支援事業はもとより、広島の知名度向上に極めて有効なフィルム・コミッション事業やまちの賑わいづくりに大きく寄与する祭委員会事業の積極的な推進を図る。

なお、令和2年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとともに、広島地域においては、第37回全国都市緑化フェア「ひろしま はなのわ 2020」、国内最大級の大型観光イベントである「せとうち広島ディスティネーションキャンペーン」などをはじめとする各種イベントが予定されており、観光客誘致にとって絶好の環境にあることを十分に認識して事業に取り組む。

【重点事業】

I MICE振興関係

令和2年度の広島でのMICEの開催件数を650件（うち国際会議の開催件数を110件）、参加者数を延べ35万人とする目標を掲げ、国際会議及び大規模な国内会議をメインターゲットに設定し、積極的に誘致・支援事業を推進する。

1 セールス・プロモーションの強化

(1) マーケティング機能の強化

国際会議協会（ICCA）等から質の高い会議情報の収集を行い、顧客管理システムを活用し、効率的なセールス活動を行う。また、ホームページの充実に努め、世界に向けた情報発信を行う。

(2) 個別誘致セールスの強化

MICEプランナーズガイド等の誘致ツールを活用し、首都圏を中心として効率的なセールス活動を行い、新規顧客の掘り起こしに取り組む。

(3) MICE専門見本市への出展

IMEX Frankfurt、IMEX米国、AIMEメルボルン、国際MICEエキスポ（東京）などのMICE専門見本市に継続して出展し、国際会議や経済効果の高いインセンティブツアーの誘致促進を図る。

2 誘致・開催を支援するプログラムの充実・強化

(1) テクニカルビジットの開発・運用

産業界との連携強化を図るとともに、MICEの開催をビジネス交流やイノベーションの機会創出につなげるため、MICE参加者と産業界などとの交流プログラムの開発・運用を行う。

(2) ユニークベニューの開発・運用

広島市の「ユニークベニュー等利用促進協議会」に参画し、歴史的建造物や文化施設等での会議の開催など、特別感や地域特性を演出するユニークベニューの開発・運用を行う。

(3) 大規模会議への支援

レセプション等における伝統芸能の提供、シャトルバスの提供、歓迎用看板の掲出など、広島で開催して良かったと喜んでもらえるような支援に取り組む。

II 観光振興関係

「人とのふれあいがもたらす思い出づくりで、世界中に広島ファンをつくる。」という目標を掲げ、外国人観光客の約6割を占める欧米豪からの観光客をメインターゲットに設定し、観光客誘致及び受入態勢の充実・強化に積極的に取り組む。

そして、事業の推進に当たっては、

- ① 平和を深く、広域都市圏（24市町）に広く
- ② 人とのつながりによるきずなづくり
- ③ 現場に入って、掘り起し、育てる

という3つの視点を踏まえ、企画・実践することとする。

1 受入態勢の充実・強化

(1) 多様性への対応

国籍や言語、宗教、嗜好等に関わらず、全ての人がストレスなく過ごせる街を目指し、中でもその対応が急務であるムスリム・ベジタリアン等にも対応可能な飲食店の増加を促進する。

(2) 新たな観光プロダクトの開発

「インバウンド受入ビジネスフェア」等を通じて、観光プロダクト開発に取り組む事業者や起業家を掘り起こし、実践の場の提供とフィードバック等を通じて事業者の成熟段階に応じた各種支援を行い、より魅力あるプロダクト開発を推進する。

(3) 街のにぎわいづくり

「ひろしまフラワーフェスティバル」等の祭りやイベントの実施において、それ自体が旅の目的となるよう魅力向上に努め、街の回遊性・界限性を創出する。

2 観光客の多様なニーズに対応した旅の提案機能の充実・強化

(1) 「ひろたび」の機能強化

自分のスタイルで周遊したいという観光客のニーズに応え、自分の好みにあった「旅の提案」ができるよう「ひろたび」の機能を強化し、観光客の満足度を上げるとともに広島広域都市圏内の周遊を促進し、滞在時間の延長と消費拡大を図る。

(2) 広島広域都市圏内の観光案内所等との連携強化

広島広域都市圏内の観光案内所間の連携を図り、観光情報を共有するとともに、圏域内の観光案内所職員が「ひろたび」の旅の提案機能を活用しながら観光客のニーズに沿った広域的な観光情報を提供することで、観光客の満足度を向上させる。

3 MICE推進事業やフィルム・コミッション事業等、ビューローが持つ強み・独自性を活かしたプロモーションの展開

(1) MICE推進事業によるプロモーション

MICE誘致・支援事業等の実施における都市紹介やポストコンベンションメニューの提案等を通じて、広島の観光都市としての魅力をPRする。

(2) フィルム・コミッション事業によるプロモーション

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を積極的に行い、広島発の映像情報の発信等により、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進する。

(3) SNS発信による観光客誘致

観光客に対し、旅マエでは旅行先として広島への関心を向上させ、旅ナカでは広島広域都市圏内の周遊を促すなど、場面に応じた魅力ある情報発信を行う。

また、受入態勢整備等による顧客満足度の向上により、旅アトにおける観光客からのSNS発信・拡散を図る。

【公益目的事業】

I MICE振興事業

1 情報収集事業

171万1千円

(1) MICE関連機関からの情報収集

78万7千円

一般社団法人日本コンгрレス・コンベンション・ビューロー（以下「JCCB」という。）の開催意向調査結果、約5,200件のデータを活用し、効率的に誘致活動を行う。

また、国際会議やイベントを主催する約100か国1,100団体が加盟する世界最大のコンベンション関係組織である国際会議協会（ICCA）、JCCB、独

立行政法人国際観光振興機構（以下「J N T O」という。）及び一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構の会員となり、国際会議を主としたM I C E 誘致のために有益な情報収集を行う。

(2) 顧客管理システムの運用 92万4千円

コンベンション調査やM I C E 関連機関等から収集した情報を蓄積する顧客管理システムを更新するとともに、これまで蓄積してきた学会等のデータを分析するなどして、効率的に誘致・支援活動を行う。

2 M I C E の誘致・支援事業 5, 867万8千円

【目 標】

- ・M I C E 開催件数 650件（うち国際会議 110件）
- ・参加者数 延べ35万人

(注) 目標値は国際会議及び国内会議並びにインセンティブ旅行の数値である。

令和元年度は、イベントやスポーツ大会等を含め、開催件数550件、参加者数55万人を目標としていた。

(1) 誘致活動の実施 1, 451万9千円

ア グローバルM I C E 強化事業 527万1千円

グローバルM I C E 都市として、M I C E 主催者に対する支援を行うとともに、M I C E 開催地としての広島の魅力を広く訴求し、M I C E ブランドの浸透を図り、M I C E の誘致を推進する。

(ア) ロビー活動支援事業

国際会議の開催地を決定する理事会等の場に職員を派遣し、会議主催者とともにロビー活動を実施する。

(イ) テクニカルビジットのモデル事業の実施

広島で開催されるM I C E の参加者を対象に、地元企業などの産業技術や研究の実地視察及び受入企業との交流を行うテクニカルビジットのモデル事業を実施する。

- ・企業の調査及びテーマの設定
- ・産業技術見学・ビジネス交流プログラムの造成



(ウ) 福岡市及び北九州市のM I C E 推進機関との共同事業の実施

「A I M E 2021 メルボルン」への共同出展

- ・開催時期 令和3年2月中旬 3日間
- ・場 所 オーストラリア メルボルン
- ・関係者数 バイヤー 約330人
- 出展者 約300団体

【目 標】 商談件数 30件



(イ) シャトルバス等の運行助成

国際会議等の開催時に会場間又は会場と交通拠点間のシャトルバス等の運行助成を行うことにより、会議運営の効率性を確保する。

(オ) 誘致ツールの作成

- ・プランナーズガイドの改訂・増刷 400部

(カ) グローバルMICE都市・都市力強化対策本部への職員派遣

グローバルMICE都市12都市及びMICE推進機関等で構成する「グローバルMICE都市・都市力強化対策本部」に参加し、情報交換を行う。

イ 個別誘致活動の実施

526万8千円

国内のMICE主催団体等に対し、誘致活動を行う。

(ア) 首都圏等での活動

主として、首都圏に本部を置く団体、学術会議本部、企業等に誘致活動を展開する。

(イ) 広島県内での活動

県内の大学及び各教育機関、各種企業・団体等に対し、誘致活動を展開する。

ウ 海外MICE専門見本市における誘致活動

204万2千円

海外で開催される主要なMICE専門見本市に出展し、MICE主催者等に宣伝・誘致活動を行う。

(ア) 「IMEX 2020」への出展

- ・開催時期 令和2年5月12日(火)
～14日(木)
- ・場所 ドイツ フランクフルト
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー
約4,000人
- 出展者 約3,500団体



【目標】商談件数 25件

(令和元年度 25件)

(イ) 「IMEX America 2020」への出展

- ・開催時期 令和2年9月15日(火)
～17日(木)
- ・場所 アメリカ ラスベガス
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー
約3,300人
- 出展者 約3,500団体



【目標】商談件数 30件

(令和元年度 30件)

※ ホステッド・バイヤー：トレードショーに招待された優良なMICE主催者

(ウ) 「A I M E 2 0 2 1 メルボルン」への出展【再掲】

- ・開催時期 令和3年2月中旬 3日間
- ・場 所 オーストラリア メルボルン
- ・関係者数 バイヤー 約330人
- 出展者 約300団体

【目 標】 商談件数 30件

※ 事業費は「ア グローバルM I C E 強化事業」に含む。

エ 国際M I C E エキスポ（IME 2021）への出展 68万8千円

国内唯一のM I C E 総合見本市・トレードショーである国際M I C E エキスポに出展し、M I C E 開催の決定権を有するキーパーソンなどに対して、広島での開催を働きかける。

- ・開催時期 令和3年2月予定
- ・場 所 東京都内
- ・主 催 J N T O 及び J C C B
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー 約20名
- 出展者数 約80団体

【目 標】 商談件数 20件（令和元年度 20件）

オ キーパーソンの視察受入 52万3千円

M I C E 開催の意向を有するキーパーソン等の視察受入を行い、M I C E 施設・観光資源・受入態勢等、広島の魅力を紹介・案内することにより、広島での開催を働きかける。

- ・受入者数 年間5人程度

カ 広島産学公連携M I C E 推進協議会の運営 1万4千円

「広島産学公連携M I C E 推進協議会」及び当該協議会内に設置する「インセンティブ部会」を運営し、広島におけるM I C E 誘致を推進する。

【広島産学公M I C E 推進協議会】

- ・開催回数 2回

【インセンティブ部会】

- ・開催回数 3回

キ 中国・四国地区コンベンション推進協議会への参画 71万3千円

中国・四国地区のコンベンション推進機関等14団体で構成する中国・四国地区コンベンション推進協議会において、コンベンション等に関する情報の収集・交換及びコンベンション等の推進に関する調整や研究を行う。また、中国・四国地区コンベンション誘致懇談会に出展し、M I C E 主催者等に宣伝・誘致活動を行う。

(ア) 総会への参加

- ・開催時期 令和2年7月予定
- ・場 所 高松市内

- (1) コンベンション誘致懇談会への出展
- ・開催時期 令和2年11月予定
 - ・場所 東京都内
 - 【目標】商談件数 25件
(令和元年度 20件)



(2) 支援活動の実施

4,415万9千円

ア コンベンション誘致助成事業

3,800万円

コンベンション主催者に対し開催経費の一部を助成することにより、広島での開催を促進する。

【助成制度の概要】

区分	参加者数	参加国数	開催期間	助成限度額
国際会議	100人以上200人未満	3か国以上	2日間以上	30万円
	200人以上	3か国以上	2日間以上	60万円
	300人以上	5か国以上	3日間以上	300万円
国内会議	全国的なもので1,000人以上又は延べ2,500人以上	-	-	300万円

イ コンベンション開催準備資金貸付事業

801万2千円（※）

コンベンション主催者に対し、開催に必要な準備資金の貸付を行うことにより、広島での開催を促進する。

- ・貸付限度額 国際会議 300万円
国内会議 200万円

※ うち800万円は、広島市からの借入金であるため支援活動の実施に係る事業費には含めていない。

ウ 大規模会議等への支援

614万7千円

大規模会議等に対して、広島観光親善大使や外国語ボランティアガイドの派遣、伝統芸能等の提供、歓迎用看板等の掲出及び記念品等の提供を行い、参加者に対し歓迎の意を表す。

(ア) 広島観光親善大使の派遣

開会式等での式典補助及び広島のプロモーション等の実施

(イ) 外国語ボランティアガイドの派遣

国際会議での観光情報の提供



(ウ) レセプション等における伝統芸能等の提供

会議及びインセンティブ旅行参加者をもてなすこと目的とした、神楽の伝統芸能等の提供



(エ) 歓迎用看板等の掲出

・掲出場所 J R 広島駅及び広島空港

・掲出対象 国際会議及び大規模国内会議

(オ) 記念品等の提供

・コングレスバッグ (ビニール製 40,000枚)

・グルメ&ナイトガイド (55,000部)

3 広報・宣伝事業

472万7千円

(1) 機関紙「ひろしま観光コンベンション」の発行 180万円

コンベンションの開催やポストコンベンション情報、観光情報、ビューローの活動状況等を掲載した機関紙「ひろしま観光コンベンション」を発行し、コンベンション主催者等への情報提供を行う。

・発行回数 年4回

・発行部数 1回当たり7,200部

(2) ホームページの運用 292万7千円

ア MICE施設の情報やMICEの開催情報等を主催者等へ提供する。

イ コンベンションカレンダーの更新

広島で開催予定の会議等をまとめたカレンダーを毎月更新し、ホームページ上で公開する。

4 調査・企画事業

66万円

(1) 経済波及効果調査の実施 4万円

コンベンション主催者及び参加者に対し支出に関するアンケート調査を行い、コンベンション開催に伴う経済波及効果を算出する。

(2) 観光・コンベンションセミナーの開催 62万円

コンベンション・観光関連団体、企業を対象としたセミナーを、広島商工会議所と共に開催し、観光及びコンベンションに関する知識・ノウハウの習得、接遇能力の向上を図る。

・開催時期 令和3年2月予定

II 観光振興事業

1 観光客の受入態勢整備事業 420万1千円

(1) 外国人観光客受入支援の実施 420万1千円

ア インバウンド受入ビジネスフェアの開催 333万3千円

外国人観光客受入に取り組みたい企業・店舗とインバウンド向け事業を行っている企業等をつなぐ「インバウンド受入ビジネスフェア」を開催し、インバウンド受入態勢を強化する。

・開催時期 令和2年7月（2日間）

・会 場 広島国際会議場

・事業内容 展示商談会（出展小間数40小間）、講演会、情報交換会、その他



展示商談



講演会

イ 外国人観光客の受入対応が可能な飲食店の増強 44万5千円

外国人観光客の受入対応が可能な飲食店の増加を図るため、ムスリム・ベジタリアン等の食の多様性の現状や対応方法を広く周知するとともに、取組意向が強い飲食店に対する実践セミナーを開催する。

・取組意向や取組状況の調査

・取組意向が強い飲食店に向けた実践セミナーの開催

・対応可能な飲食店の紹介・PR 等

ウ 広島広域都市圏内の観光案内所等との連携強化 4万1千円

チャットなどのコミュニケーションツールを活用し、観光案内所間の連携を図り、タイムリーな観光情報の共有などを行うことにより、外国人観光客の利便性の向上や相互送客を図り、満足と安心を与える環境を整備するとともに、広域都市圏での周遊を促進する。

エ 観光客受入向上セミナーの開催 28万4千円

観光客受入の意識向上とビジネス化への機運醸成を図り、観光客受入に関する最新情報を関係者間で共有するため、セミナーを開催する。

オ インバウンド事業道場の開催【新規】 9万8千円

観光事業者のインバウンド事業への取組を強化するため、最新情報の共有や事業者間の人的交流を図ることにより事業者同士が切磋琢磨できる場を提供する。

・回数 年6回

(1) 広島市観光振興ネットワーク会議の運営 1万4千円

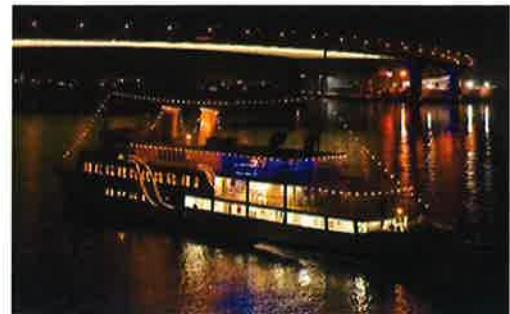
広島市の観光振興に関して、観光関係者が連携して振興策を協議し、活力ある広島経済の創造に資する。

(2) 広島湾ナイトクルージングの実施 60万円

船舶事業者等で構成する実行委員会の事務局として、広島湾一帯を新たな観光ゾーンとして定着させるため、「広島湾ナイトクルージング」（6航路）を実施する。

実施期間については、「せとうち広島デスティネーションキャンペーン」の開催期間（令和2年10月～12月）を考慮して設定する。

・実施期間 令和2年7月18日（土）～10月31日（土）（106日間）



(3) 観光プロダクトの開発 213万7千円

広島を訪れる観光客の満足度を上げ周遊促進や滞在時間の延長を図るため、観光プロダクト開発に取り組む事業者や起業家に対し、観光プロダクト開発の計画作成や試行・マーケティング調査、周知・広報等の支援を行う。

ア 事業計画作成への支援

観光プロダクトの事業化に必要となるターゲット設定、商品化計画、広報PR計画など具体的な事業設定を検討した事業計画を作成するにあたり、職員による相談、助言を行うとともに、関係機関や関連事業者の紹介を行う。

イ 実践の場の提供

観光プロダクト開発に取り組む事業者のメニューを外国人観光客に体験してもらい、その声を踏まえて、一緒にイベントを振り返り、改善を繰り返すことによって商品化を進めるよう助言を行う。



【実施内容】

- ・体験型トライアルイベント
 - ・施設見学型イベント
 - ・ガイドコース型イベント
- など計8回



ウ インバウンド総合展への共同出展

商品化された観光プロダクトについて、販路を拡大し、新規の顧客開拓に結びつけるため、国内で開催されるインバウンド関係の見本市へ観光プロダクト事業者と共同出展を行う。



エ 情報発信の強化

訪日旅行前（旅マエ）及び旅行中（旅ナカ）の外国人観光客に向けた観光プロダクトの告知を強化する。

(ア) J N T Oを通じた海外への情報発信の強化

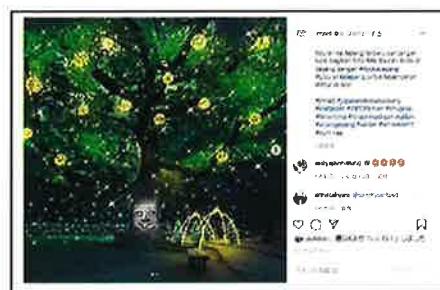
J N T O海外事務所を通じて、海外の旅行会社や観光客に向けた情報発信を英語他多言語で行う。



トドニー事務所 FaceBook



シンガポール事務所 FaceBook



ジャカルタ事務所 Instagram

(イ) 外国人観光客向けフリーぺーパーの発行【新規】

- ・言 語 英語
- ・発行回数 年25回
- ・発行部数 1,000部／回
- ・配 付 先 観光案内所、宿泊施設、飲食店、商業施設など
- ・掲載内容 体験型観光プロダクト他のイベントスケジュール、飲食店情報など

【実施のイメージ】



3 観光宣伝・誘致活動推進事業

1,192万6千円

(1) 観光客誘致プロモーション活動

138万9千円

ア 国内観光客への宣伝・誘致活動

事業名	時期	場所
ツーリズムEXPOジャパン東京商談会への参加	令和2年 9月	東京
宮島・広島・岩国・呉・廿日市共催首都圏観光宣伝隊への参加	令和2年12月	東京

イ 外国人観光客への宣伝・誘致活動

VISIT JAPAN トラベルマートを始めとする各種インバウンドフォーラムや各種情報交換会に参加し、セールス活動及び情報発信等を行うことにより、広島への外国人観光客誘致の一層の推進を図る。

また、JNTOのロサンゼルス、シドニー、パリなど22の海外事務所を情報拠点として活用し、現地の旅行会社や一般消費者へ広島のPRを行うとともに、マーケット情報の収集を行う。

事業名	時期	場所
VISIT JAPAN トラベルマートへの参加	令和2年10月	横浜
JNTOインバウンド振興フォーラムへの参加	未定	東京
中国地方インバウンドフォーラムへの参加	令和2年 9月	岡山
関係機関への誘致活動及びマーケット情報の収集	随時	東京他



「ツーリズムEXPOジャパン2019」
ひろしま・せとうちブース



首都圏観光宣伝隊による街頭宣伝
(JR品川駅) (2019年12月)



VISIT JAPAN トラベルマート2019での商談

ウ SNSによる情報発信

Twitter、Facebook及びInstagramを活用し、国内外へ最新情報を始めとする様々な情報を発信することにより、広島への観光客誘致を推進する。

(2) 地域観光の推進

50万4千円

観光情報を発信する祭り・イベント等を支援し、地域観光の推進を図る。

ア 第33回湯の山温泉桜まつり

・開催時期 令和2年4月12日（日）

イ 第30回湯来温泉ホタルまつり

・開催時期 令和2年6月21日（日）～28日（日）

(3) 観光宣伝物作成

707万9千円

発地型パンフレット「きんさい ひろしま」及び着地型パンフレット「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」を作成し、JNTOの海外事務所（22か所、年3回、延べ約2万部提供）、市内外の観光案内所、宿泊施設、商業施設などに配布することで、広島への観光客誘致を推進する。

パンフレットの名称	言語
きんさい ひろしま	日本語、英語
ようこそ！広島へ観光ガイドマップ	日本語、英語、中国語（簡体字版・繁体字版）、ハングル等（全10言語11表記対応）



(4) 親善交流

82万1千円

観光親善大使を含む訪問団を結成して広島市と相互交流のある都市を訪れ、行政・メディア・観光協会等関係機関への観光PRを実施することで、都市間の親善交流を図る。

事業名	時期	場所
第33回浜田市親善訪問	令和2年8月	浜田市
第40回沖縄親善訪問	令和2年9月	沖縄市
第41回北広島市親善訪問	令和2年9月	北広島市



浜田市“石州浜っ子夏まつり”
で観光PR（2019）

“沖縄全島エイサーまつり”
で観光PR（2019）

上野北広島市長を表敬訪問（2019）

(5) 観光親善大使による観光宣伝活動

213万3千円

広島市の代表にふさわしい意欲あふれる観光親善大使を選考し、観光関連事業において観光PRを行うとともに広島観光親善大使ブログ等SNSによる情報発信を行い、広島への観光客誘致を推進する。

- ・名 称 広島観光親善大使
- ・人 数 3人
- ・交代時期 令和2年7月
(任期1年間)



広島観光親善大使（2019）



大使ブログ



大使フェイスブック



4 観光施設管理運営等受託事業

8,730万6千円

(1) 観光案内所の運営

1,429万2千円

広島市観光案内所を運営し、タイムリーな情報提供を行うことにより、広島市及びその周辺地域を訪れる国内外の観光客の利便性を向上させる。

- ・設置場所 平和記念公園内
紙屋町地下街（シャレオ）

※ 2か所ともJNTO認定外国人観光案内所のカテゴリー2（少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供）となっている。

※ 平和記念公園内観光案所の運営は、6月末まで。

(2) 来広観光客等動向調査

12万3千円

来広観光客の質的構成や動態をアンケート等により調査するとともに、広島市の観光情報に係る観光概況データを収集し、広島への観光客誘致の推進に活用する。

ア 来広観光客アンケート調査

- ・実施回数 年4回
- ・調査予定期 約1,000人

イ 入込観光客調査

広島市内の宿泊・観光施設及び交通機関等を対象に利用状況調査を行う。

・調査予定数 約300施設・機関

(3) ひろしまライトアップ事業の運営その他

3, 336万円

「広島祭委員会」、「ひろしまライトアップ事業実行委員会」の事務局分室を設置し、下記の事業を開催することにより、広島への観光客誘致を推進する。

事 業 名		時 期
祭 委 員 会	ひろしまフラワーフェスティバル	5月3日～5日
七夕まつり		7月1日～10日
ピースメッセージとうろう流し		8月6日
広島城大菊花展		10月24日～11月8日
ひろしまドリミネーション		11月17日～1月3日



ひろしまフラワーフェスティバル



ピースメッセージとうろう流し



広島城大菊花展



ひろしまドリミネーション

(4) ホームページの運営

1, 867万2千円

ア 広島広域観光情報サイト「ひろたび」等の運営

広島広域観光情報サイト「ひろたび」および外国人観光客向けの「Explore Hiroshima」（英語版、中国語版（簡体字版・繁体字版）、ハングル語版、フランス語版、ドイツ語版、タイ語版）を運営するとともに、SNS（日本語・英語）を活用した国内外への最新情報の発信により、広島への観光客誘致を推進する。

イ 「旅の提案」ができる機能の導入【新規】

自分のスタイルで周遊したいという観光客のニーズに応えるため、次の機能を導入し、観光客の満足度を上げるとともに広島広域都市圏内の周遊を促進し、滞在時間の延長と消費拡大を図る。

(ア) 周遊コースを自分好みにカスタマイズする機能

行きたい場所をピックアップするだけで、自動で最適な順番に並び替え、交通機関の案内をするなど、誰でも簡単に自分好みの周遊プランが作れる機能。

(イ) A Iにより周遊コースを自動で作成する機能

2時間コース、半日観光コース、有名観光地より穴場を重視したい、歴史を中心自然も満喫したい、など所要時間やその時の気分を入力することで最適のコースを自動作成してくれる機能。

(5) フィルム・コミッショング事業の運営

1, 815万7千円

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を行い、広島発の映像情報の発信などにより、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進する。

ア ロケ撮影の誘致

盼	事 業 名	時 期	場 所
イ ベ ン ト 映 像 関 連	マルシェ・ドゥ・フィルム(カンヌ国際映画祭関連)への参加	令和2年5月	カンヌ(フランス)
	ジャパン・コンテツ・ショーケース(東京国際映画祭関連)への参加	令和2年10月	東 京
	広島国際映画祭の参加映像制作者への誘致活動	令和2年11月	広 島
	ジャパン・フィルムコミッション(JFC)全国ロケ地フェアへの出展	令和3年1月	東 京
映像制作者訪問等による誘致活動		随 時	東京ほか



広島国際映画祭(2019)



リンク・オブ・シネシア(フランク国際映画祭関連)
での誘致活動(2019)

イ ロケ撮影の支援

ロケ地情報の提供、施設の使用調整・許可申請手続、ボランティア・エキストラの募集、ロケハン同行・ロケ撮影立会等を行い、ロケ撮影を支援する。

(支援件数 年間約250件)



支援映画「記憶屋」の撮影風景(2019)

ウ ロケ撮影環境の整備

市民に対しロケ撮影に関する講演会やパネル展の開催及びメールマガジンによる情報発信並びにロケ地マップ作製やロケ地巡りの実施等のプロモーション活動を行い、フィルム・コミッション事業に対する理解・協力を促すとともに、関係支援団体との連携を図り、ロケ撮影のしやすい環境づくりを行う。

エ 映像コンテンツ販売の支援

広島を題材に撮影された映像コンテンツの販売促進を支援する。

オ フィルム・コミッション間の連携

国際フィルムコミッショナーズ協会(AFCI)、アジア・フィルムコミッション・ネットワーク(AFCNet)、ジャパン・フィルムコミッション(JFC)、フィルム・コミッション中国ロック会議に参加することなどにより、意見交換、情報収集に努め、フィルム・コミッション間の連携を強化する。

【参考】

1 広島フィルム・コミッション(FC)の誘致活動の特色

映画監督、プロデューサー等の映像制作者が一堂に集う国内外のトレードショーや映画祭を面談の機会ととらえ、映像制作者のアポイントを取って個別にロケ撮影誘致活動を行っている。このスタイルで作られた映像制作との新たなコネクションを活かして、さらに面談の機会を増やしていく広島FC独自の誘致戦略により、これまで数々のロケ誘致の実績を上げてきた。

また、映像制作とのコネクションをいかして広島に関心を持ってもらい、ロケハン～ロケ撮影～作品完成を経て、毎年秋に広島で開催される「広島国際映画祭」での上映で、地元広島に作品を披露するサイクルが確立されていることが広島FCの強みになっている。

2 各映像関連イベントの内容

(1) マルシェ・ドゥ・フィルム（カンヌ国際映画祭関連）

今年はロケ撮影を支援した映画「朝が来る」（河瀬直美監督）が同映画祭に出品され、監督も参加するため、監督に紹介してもらえる他の映像制作への誘致活動が可能である。

(2) ジャパン・コンテンツ・ショーケース（東京国際映画祭関連）

国内最大の映画祭であり、国内外から多数の映像制作関係者が来場している。

(3) JFC全国ロケ地フェア

多くの国内FCが加入しているジャパン・フィルムコミッションが主催する全国のロケ地を紹介するイベントである。

(4) 広島国際映画祭

ロケ撮影支援をした作品を披露できる場として、また、ロケ撮影して欲しい監督を招聘できる場として、広島FCのロケ誘致戦略上重要な役割を果たしている。

3 フィルム・コミッション事業の効果

(1) 直接的経済効果・・・ロケ撮影時の宿泊費、車両代、交通費等の消費

平成30年度の広島FC支援作品ロケ撮影消費額計4,800万円（主な事例：テレビドラマ「夕凪の街 桜の国」480万円（ロケ9日、スタッフ35名）、映画「記憶屋」250万円（ロケ2日、スタッフ50名））

(2) 間接的経済効果・・・来広観光客の増加

平成30年度広島市来訪観光客アンケートの来広動機「広島を題材・ロケ地とした映画・テレビを見て」及び「新聞、雑誌、テレビ・ラジオで知った」 = 6. 6 %

(6) 観光宣伝物作成**270万2千円**

街角観光案内所「トラベルパル」及び「トラベルパル・インターナショナル」などで配布する観光パンフレットを作成する。

- ・名 称 ようこそ！広島へ観光ガイドマップ

- ・対応言語 日本語、英語、中国語（簡体字版・繁体字版）、ハングル等
(全10言語11表記対応)

【その他】**I その他事業****998万6千円****1 賛助会員向け事業****144万8千円****(1) 会報の発行****29万8千円**

国際会議等の誘致・開催支援状況や、各種観光事業等を掲載した会報「Monthly News」を発行し、賛助会員等へ情報提供を行う。

- ・発行回数 年12回

- ・発行部数 1回当たり約500部

(2) 優良従業員表彰及び賛助会員交流会の実施**115万円**

賛助会員の企業・団体に勤務する優秀な従業員を表彰し、観光事業及びコンベンション振興事業の健全な発展及び観光客への接遇向上を図る。また、併せて賛助会員交流会を開催し、賛助会員同士の交流を深める。

- ・開催時期 令和3年2月

2 職員の研修事業**106万3千円**

JNTOやJCCB等が主催する実務担当職員を対象とした研修会等に職員を参加させ、コンベンション誘致や開催ノウハウを習得する。

主な研修会	時 期	場所（予定）
MICEセミナー（初任者対象）	令和2年5月	東京都
MICEセミナー（上級者対象）	令和3年1月	東京都
JCCB人材育成セミナー（実務者対象）	令和2年12月	東京都

3 観光資源の維持管理**747万5千円**

観光ライトアップ設備(15か所)、観光サイン(635基)及び「灯和の径」(57灯)等を維持管理する。

第2表 収支予算

1 収支予算書

収 支 予 算 書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益 基本財産受取利息	16,124	16,310	△ 186
② 受取会費 賛助会費受取会費	11,675	12,662	△ 987
③ 事業収益 広告事業収益	99,330	117,325	△ 17,995
観光親善大使派遣事業収益	4,032	3,539	493
広島市受託収益	517	712	△ 195
94,781	113,074	△ 18,293	
④ 受取負担金 受取負担金	3,180	4,185	△ 1,005
⑤ 受取補助金等 受取広島市補助金	245,370	235,257	10,113
⑥ 雜収益 雑収益	100	222	△ 122
経常収益計	375,779	385,961	△ 10,182
(2) 経常費用			
① 事業費			
329,023	336,715	△ 7,692	
役員報酬	8,083	8,108	△ 25
給料手当等	153,612	165,519	△ 11,907
賞与引当金繰入	8,355	9,225	△ 870
退職給付費用	308	308	0
福利厚生費	29,866	33,631	△ 3,765
賃金	5,183	2,152	3,031
報償費	1,433	1,584	△ 151
普通旅費	8,137	7,658	479
消耗品費等	4,750	4,560	190
燃料費	274	372	△ 98
食糧費	1,646	1,809	△ 163
光熱水費	1,067	1,024	43
修繕料	628	675	△ 47
通信運搬費	2,939	3,064	△ 125
手数料等	600	557	43
保険料	333	302	31
委託料	31,265	43,437	△ 12,172
使用料及び賃借料	9,259	10,587	△ 1,328
備品購入費		134	△ 134
負担金、補助及び交付金	54,240	35,185	19,055
公課費	7,045	6,824	221

科 目	予算額	前年度予算額	増減
② 管理費	52,917	51,804	1,113
役員報酬	7,025	7,048	△ 23
給料手当等	12,909	13,468	△ 559
賞与引当金繰入	1,008	945	63
退職給付費用	7,213	4,840	2,373
福利厚生費	4,112	4,085	27
賃金	1,586	1,528	58
報償費	228	258	△ 30
普通旅費	184	262	△ 78
交際費	30	30	0
消耗品費等	357	441	△ 84
食糧費	81	87	△ 6
光熱水費	900	1,164	△ 264
修繕料		4	△ 4
通信運搬費	903	1,099	△ 196
手数料等	164	167	△ 3
委託料	1,421	1,444	△ 23
使用料及び賃借料	10,949	10,937	12
負担金、補助及び交付金	3,760	3,910	△ 150
公課費	87	87	0
経常費用計	381,940	388,519	△ 6,579
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,161	△ 2,558	△ 3,603
当期経常増減額	△ 6,161	△ 2,558	△ 3,603
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,161	△ 2,558	△ 3,603
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,161	△ 2,558	△ 3,603
一般正味財産期首残高	△ 76,049	△ 77,503	1,454
一般正味財産期末残高	△ 82,210	△ 80,061	△ 2,149
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	977,800	977,800	0
指定正味財産期末残高	977,800	977,800	0
III 正味財産期末残高	895,590	897,739	△ 2,149

2 収支予算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで
収支予算書内訳表

科 目		公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計		内部取引消去		合 計	
		MICE振興事業 楽光振興事業			小計			その他事業		小計			
I 一般財産増減の部	1 経常増減の部	11,668	2,635	14,303	935	935	886	1,126	1,104	7,475	16,124	11,675	11,675
(1) 経常収益	① 基本財産運用益	2,052	9,445	9,445	1,126	1,126	1,104	7,475	7,475	99,330	4,032	99,330	99,330
② 受取会費	③ 事業収益	2,052	89,803	91,855	4,032	4,032	4,032	517	517	517	517	517	517
広告事業収益	観光振興大便派道事業収益	1,980	517	517	87,306	87,306	87,306	7,475	7,475	94,781	94,781	94,781	94,781
④ 受取負担金	受取負担金	2,730	2,730	2,730	200,604	200,604	200,604	450	450	44,766	44,766	3,180	3,180
⑤ 受取補助金等	受取補助金等	120,320	80,284	80,284	100	100	100					245,370	245,370
⑥ 雜収益	雑収益	134,040	184,997	319,037	0	0	0	9,986	9,986	46,756	0	100	100
(2) 経常費用	① 事業費	134,040	184,997	319,037	9,986	9,986	9,986	3,553	3,553	208	208	329,023	329,023
役員報酬	給料手当等	3,550	4,533	8,083	8,083	8,083	8,083	208	208	208	208	8,083	8,083
賞与引当金繰入	96	5,370	103,332	150,059	8,147	8,147	8,147	591	591	591	591	153,612	153,612
退職給付費用	9,608	212	212	308	29,275	29,275	29,275					8,355	8,355
福利厚生費	1,254	19,667	19,667	5,183	5,183	5,183	5,183					308	308
賃金	344	3,929	1,089	1,433	1,433	1,433	1,433					29,866	29,866
報償費	5,103	2,176	7,279	7,279	7,279	7,279	7,279					5,183	5,183
普通旅費	2,563	1,985	4,548	4,548	4,548	4,548	4,548					1,433	1,433
消耗品費等	150	124	274	274	274	274	274					8,137	8,137
燃料費	340	556	896	896	896	896	896					4,750	4,750
食糧費	115	121	236	236	236	236	236					274	274
光熱水費	1,238	1,453	2,691	2,691	2,691	2,691	2,691					1,646	1,646
修繕料	8	592	600	600	600	600	600					1,067	1,067
通信運搬費	118	215	333	333	333	333	333					1,067	1,067
手数料等	7,583	22,206	29,789	29,789	29,789	29,789	29,789					628	628
保険料	3,999	5,260	9,259	9,259	9,259	9,259	9,259					600	600
委託料	48,404	5,631	54,035	54,035	54,035	54,035	54,035					333	333
使用料及び賃借料	63	6,546	6,609	6,609	6,609	6,609	6,609					31,265	31,265
負担金、補助及び交付金												9,259	9,259
公課費												54,240	54,240
												7,045	7,045

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
	MICE振興事業	観光振興事業	小計	ハトウガ瓦店運営事業	その他事業	小計			
② 管理費	0	0	0	52,917	52,917	52,917			52,917
役員報酬				7,025	7,025	7,025			7,025
給料手当等				12,909	12,909	12,909			12,909
賞与引当金繰入				1,008	1,008	1,008			1,008
退職給付費用				7,213	7,213	7,213			7,213
福利厚生費				4,112	4,112	4,112			4,112
賃金				1,586	1,586	1,586			1,586
報償費				228	228	228			228
普通旅費				184	184	184			184
交際費				30	30	30			30
消耗品費等				357	357	357			357
食糧費				81	81	81			81
光熱水費				900	900	900			900
通信運搬費				164	164	164			164
手数料等				1,421	1,421	1,421			1,421
委託料				10,949	10,949	10,949			10,949
使用料及び賃借料				3,760	3,760	3,760			3,760
負担金、補助及び交付金				87	87	87			87
公課税				9,986	9,986	9,986			9,986
経常費用計	134,040	184,997	319,037	0	0	0	△ 6,161	0	381,940
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	△ 6,161	0	△ 6,161
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	△ 6,161	0	△ 6,161
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 6,161	0	△ 6,161
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	△ 6,161	0	△ 6,161
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	7,205	△ 12,873	△ 5,668	20,677	72	20,749	△ 91,130	0	△ 76,049
一般正味財産期末残高	7,205	△ 12,873	△ 5,668	20,677	72	20,749	△ 97,291	0	△ 82,210
II 指定正味財産増減額の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	867,309	0	867,309	0	56,712	56,712	53,779	977,800	977,800
指定正味財産期首残高	867,309	0	867,309	0	56,712	56,712	53,779	0	977,800
III 正味財産期末残高	874,514	△ 12,873	861,641	20,677	56,784	77,461	△ 43,512	0	895,590

3 資金調達及び設備投資の見込みについて
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(1) 資金調達の見込みについて

事業名	借入先	借入期間	借入限度額 (千円)	目的
コンベンション開催 準備資金貸付事業	広島市	2年以内	8,000	コンベンション開催準備資金 の貸付け

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はない。

[参考]

収支予算書(収支ベース)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
① 基本財産利息収入	16,124	16,310	△ 186	
(2) 会費収入				
① 賛助会費収入	11,675	12,662	△ 987	
(3) 事業収入	7,212	7,724	△ 512	
① 広告収入	4,032	3,539	493	観光プロダクトフリー ペーパー広告収入等の増
② 負担金収入	3,180	4,185	△ 1,005	インバウンドビジネス フェア出展料等の減
(4) 捐助金収入				
① 広島市補助金収入	245,370	235,257	10,113	コンベンション誘致助成 事業費等の増
(5) 受託事業収入				
① 広島市受託事業収入	94,781	113,074	△ 18,293	観光案内所の運営の事業 費等の減
(6) 雑収入				
① 雜 収 入	617	934	△ 317	観光親善大使派遣料収入 の減
(7) 貸付金返還収入				
① コンベンション開催準備資金 貸付金返還収入	8,000	10,000	△ 2,000	主催者からの貸付金返還 収入の減
事業活動収入計	383,779	395,961	△ 12,182	
2 事業活動支出				
(1) MICE振興事業費支出				
① 情報収集事業費支出	134,040	120,201	13,839	
② MICEの誘致・支援事業費支出	1,711	1,714	△ 3	
③ 広報・宣伝事業費支出	58,678	40,398	18,280	コンベンション誘致助成 事業費等の増
④ 調査・企画事業費支出	4,727	4,672	55	
⑤ 事務費支出	660	562	98	
⑥ 人件費支出	947	1,049	△ 102	
⑦ 人件費支出	67,317	71,806	△ 4,489	人事異動による減
(2) 観光振興事業費支出				
① 観光客の受入態勢整備事業費支出	97,691	101,193	△ 3,502	
② 観光資源整備・開発事業費支出	4,201	5,526	△ 1,325	外国人観光客の受入対応 が可能な飲食店の増強の 事業費等の減
③ 観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	2,751	1,641	1,110	観光プロダクトの開発事 業費等の増
④ 事務費支出	11,926	12,267	△ 341	観光客誘致プロモーション 活動事業費等の減
⑤ 人件費支出	1,446	1,943	△ 497	使用料賃借料等の減
⑥ 人件費支出	77,367	79,816	△ 2,449	人事異動による減
(3) 受託事業費支出				
① 観光施設管理運営等受託事業費支出	94,781	113,074	△ 18,293	観光案内所の運営の事業 費等の減
(4) 貸付金支出				
① コンベンション開催準備資金貸付金支出	8,000	7,000	1,000	主催者への貸付金の増

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
(5) その他事業費支出	2,511	2,247	264	
① 賛助会員向け事業費支出	1,448	1,283	165	委託料等の増
② 職員の研修事業費支出	1,063	964	99	普通旅費等の増
(6) 管理費支出	45,756	49,761	△ 4,005	
① 会議費支出	685	693	△ 8	
② 事務費支出	19,965	20,725	△ 760	
③ 人件費支出	25,106	28,343	△ 3,237	職員退職手当等の減
事業活動支出計	382,779	393,476	△ 10,697	
事業活動収支差額	1,000	2,485	△ 1,485	
II 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
(1) 借入金収入	8,000	7,000	1,000	
① コンベンション開催準備資金借入金収入	8,000	7,000	1,000	広島市からのコンベンション開催準備資金借入金収入の増
財務活動収入計	8,000	7,000	1,000	
2 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出	8,000	10,000	△ 2,000	
① コンベンション開催準備資金借入金返済支出	8,000	10,000	△ 2,000	広島市へのコンベンション開催準備資金借入金返済支出の減
財務活動支出計	8,000	10,000	△ 2,000	
財務活動収支差額	0	△ 3,000	3,000	
III 予備費支出				
当期収支差額	1,000	1,000	0	
前期繰越収支差額	0	△ 1,515	1,515	
次期繰越収支差額	3,480	1,444	2,036	
	3,480	△ 71	3,551	

収支予算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
基本財産運用収入					
基本財産利息収入	14,303	935	886		16,124
会費収入					
賛助会費収入	9,445	1,126	1,104		11,675
事業収入	6,762	450			7,212
広 告 収 入	4,032				4,032
負 担 金 収 入	2,730	450			3,180
補助金収入					
広島市補助金収入	200,604		44,766		245,370
受託事業収入					
広島市受託事業収入	87,306	7,475			94,781
雑収入					
雑 収 入	617				617
貸付金返還収入					
コンベンション開催準備資金貸付金返還収入	8,000				8,000
事業活動収入計	327,037	9,986	46,756	0	383,779

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
2 事業活動支出					
M I C E 振興事業費支出	134,040				134,040
情報収集事業費支出	1,711				1,711
M I C E の誘致・支援事業費支出	58,678				58,678
広報・宣伝事業費支出	4,727				4,727
調査・企画事業費支出	660				660
事務費支出	947				947
人件費支出	67,317				67,317
観光振興事業費支出	97,691				97,691
観光客の受入態勢整備事業費支出	4,201				4,201
観光資源整備・開発事業費支出	2,751				2,751
観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	11,926				11,926
事務費支出	1,446				1,446
人件費支出	77,367				77,367
受託事業費支出					
観光施設管理運営等受託事業費支出	87,306	7,475			94,781
貸付金支出					
コンベンション開催準備資金貸付金支出	8,000				8,000
その他事業費支出		2,511			2,511
賛助会員向け事業費支出		1,448			1,448
職員の研修事業費支出		1,063			1,063
管理費支出			45,756		45,756
会議費支出			685		685
事務費支出			19,965		19,965
人件費支出			25,106		25,106
事業活動支出計	327,037	9,986	45,756	0	382,779
事業活動收支差額	0	0	1,000	0	1,000

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
II 財務活動収支の部					
1 財務活動収入					
借入金収入	8,000				8,000
コンベンション開催準備 資 金 借 入 金 収 入	8,000				8,000
財務活動収入計	8,000	0	0	0	8,000
2 財務活動支出					
借入金返済支出	8,000				8,000
財務活動支出計	8,000	0	0	0	8,000
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
III 予備費支出			1,000		1,000
当期収支差額	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	2,260	21,006	△ 19,786	0	3,480
次期繰越収支差額	2,260	21,006	△ 19,786	0	3,480